

## 福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	藍藻を用いた生長阻害試験の構築と湖沼流入河川への適用
発表学会名	第38回全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部研究会
発表者名	保月勇志（環境部）
開催場所	堺市総合福祉会館5階 研修室（大阪府堺市）
発表日時	令和6年1月25日（木）～26日（金）
発表内容	<p>水中に存在する様々な物質による水生生物への影響を評価する手法として生物応答試験(バイオアッセイ)がある。藻類、甲殻類、魚類などの生物に対し、試料水を暴露することで直接的な影響を求める試験方法であり、個別物質の測定では捉えることができない水生生物への総合的な影響を捉えることができる。今回、北潟湖に流入する河川水が水生生物に与える影響を把握するために、一次生産者として生態系のキーとなる藍藻を供試生物とした生長阻害試験を構築し、通年の調査を行った。藍藻を用いた生長阻害試験は、培養時間に7日間を要し、緑藻を用いる(3日間)より長時間の培養が必要であったが、精度はOECDテストガイドラインが示す信頼性基準を満足する結果が得られた。また、生長阻害試験の結果、毒性値は時期により大きな変動があり、一部の試料では強い毒性がみられるなど、流入水が藻類の生長に影響を及ぼす可能性が示唆された。</p>